



平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 S R A ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 鹿 島 亨
 (コード : 3 8 1 7、東証第一部)
 問 合 せ 先 管理本部長 平 田 淳 史
 (TEL. 03-5979-2666)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 10 日に公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績値の差異

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	1,850	1,850	1,200	97.49
実 績 値 (B)	19,959	1,727	2,139	851	69.09
増 減 額 (B-A)	959	△123	289	△348	—
増 減 率 (%)	5.0	△6.6	15.6	△29.0	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	20,002	1,768	1,736	1,154	94.33

2. 差異の理由

(1) 特別損失の計上と経緯

SRA グループの業務・資本提携先である Proxim Wireless Corporation(以下 Proxim)は、成長分野のひとつであるワイヤレスデータコミュニケーションにおいて先進的製品を有する米国企業です。

ここ数年のビジネス環境の変化に伴い、多くの導入実績を活かしたビジネスモデルの構築に向け検討を重ねてきたなか、共同出資者であるベンチャーキャピタルのオーナーが逝去しました。

当社は、Proxim の今後のビジネス拡充に向け、財務体質の強化を図るべく連結子会社化しました。それに伴い、260 百万円を特別損失(貸倒引当金)として計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を下回りました。

なお、本件はキャッシュアウトを伴わない一過性の評価損であります。

(2) 今後の対応

今後、Proxim は、SRA グループのもとで新たなビジネスモデルを強力に推進してまいります。

SRA グループは、継続して Proxim の支援を行い、投資資金の回収ならびに Proxim の業績回復を図ってまいります。

- ① 深圳市鑫金浪電子有限公司(以下、「Kingnet」、本社：中国、当社持分法適用会社)との連携のもと、生産ラインを中国に移し、生産の効率化を図る。
- ② Proxim の先進的製品を Kingnet の販売網を活用することで中国を中心とした成長市場へ展開し、ビジネスシナジーの拡大を図る。

なお、平成 31 年 3 月期の通期業績予想につきましては、平成 30 年 5 月 10 日に公表した数値から変更はありません。

また、平成 31 年 3 月期の配当につきましては、従来予想どおり 1 株につき 105 円（中間配当 40 円、期末配当 65 円）を計画しております。

※ 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上